



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4601S		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	西田 亮介		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 3		
講義室	1316	単位区分	必
授業形態	演習・ゼミナール	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-G [状況把握力・判断力] 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP6-K [表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP7-L [協同力・牽引力] 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 DP8-M [省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状況に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 B1 自己啓発（5%） C1 倫理的思考・社会認識（5%） E1 学識と専門技能（30%） G1 状況把握（10%） I1 理解・分析と読解（5%） K1 ライティング・コミュニケーション（10%） K2 オーラル・コミュニケーション（10%） L1 チームワーク（15%） M1 総合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行います。学生自らが危機管理に関する問題を発見し、仮説を構築し、自力で仮説を検証することにより、問題の解決につなげ、危機管理能力を養います。ここでは、問題意識を確立し、卒業論文につなげる個人研究のテーマを決定すると同時に、先行研究を収集して専門領域に関する知識を獲得できるよう指導します。 ■キーワード 危機管理、情報とメディア、先行研究、研究テーマ、卒業論文 ※授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。		

授業の趣旨	■副題 「危機管理上の情報とメディアの諸課題」について考える ■授業の目的 「危機管理上の情報とメディアの諸課題」について考察し、議論を通じて自らの考察を深め、その成果を最終的に卒業論文として執筆することを目的とする。本ゼミナールでは、とくに情報とメディアに関する分析・考察に重点を置き、その具体的事例を取り上げて研究を行う。 ■授業のポイント これまで修得したアカデミックスキル（文献読解・文章表現・プレゼンテーション・ディスカッションの技法）をさらに発展させ、履修者が自主的に研究テーマを設定し、先行研究を調査・分析した上で、自らの考察結果を論理的に表現できるようになるためのトレーニングを行う。 具体的には卒業論文のテーマ設定と論文構成案の作成をめざします。文献読解等を通じて、各自の調査・考察結果等を、発表し、議論を行う。そのプロセスをくり返し、研究テーマを決定し、論文構成案を作成する。	
総合到達目標	■「危機管理上の情報とメディアの諸課題」について分析・考察できる。 ・先行研究の調査・分析方法を修得する（第1回～第15回）。 ・各自の関心に沿った研究テーマを設定し、「危機管理上の情報とメディアの諸課題」について分析・考察する姿勢を修得する（第1回～第15回）。 ・調査や考察の結果について、自らの言葉および文章で論理的に説明することができる（第1回～第15回）。	
成績評価方法	■プレゼンテーション 複数回（55%）：適用ルーブリック B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1 （評価の観点） レジュメの内容（テキストの要点や自分の考察結果が適切に論述されているか）、プレゼンテーションの技法（聴き手に分かりやすく発表できているか）を中心に評価する。 （フィードバックの方法） 授業内に全体あるいは個別にフィードバックします。 ■授業参加度 15回（45%）：適用ルーブリック B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1 （評価の観点） グループ・ディスカッションに積極的に参加しているか、授業内課題（リアクションペーパー）において自らの考えを適切に論述しているかなど、演習授業への積極的な参加度を評価する。 （フィードバックの方法） 授業内に全体あるいは個別にフィードバックする。	
履修条件	特になし。初回出席必須。非合理的な理由での単位取得の交渉は一切受け付けない。	
履修上の注意点	特になし。毎回ノートPCやタブレットなどを持参すること。教科書は何らかの方法で学期の間手元においておけるようにすること。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 シラバスの内容に関する説明を通して、授業の全体的な概要を理解できるようになる（各自の担当箇所についても決定する）（E1）。また、自己紹介を通してコミュニケーション力を修得する（K2）。 ③予習（120分） シラバスをに精読する。 ④復習（120分） 今後の授業に備えて、本日の説明内容について復習する。
	2	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論 ②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受講者全員で議論を行う（B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（120分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。

3	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論 ②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受講者全員で議論を行う（B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（120分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。
	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論 ②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受講者全員で議論を行う（B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（121分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。
	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論 ②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受講者全員で議論を行う（B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（122分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。
	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論 ②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受講者全員で議論を行う（B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（123分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。
	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論 ②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受講者全員で議論を行う（B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（124分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。
7	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論 ②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受講者全員で議論を行う（B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（124分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。
	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論 ②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受講者全員で議論を行う（B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（125分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。
8	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論 ②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受講者全員で議論を行う（B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（125分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。
9	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論

	②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受講者全員で議論を行う（B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（126分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。
10	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論 ②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受講者全員で議論を行う（B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（127分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。
11	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論 ②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受講者全員で議論を行う（B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（128分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。
12	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論 ②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受講者全員で議論を行う（B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（129分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。
13	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論 ②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受講者全員で議論を行う（B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（130分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。
14	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論 ②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受講者全員で議論を行う（B1、C1、E1、G1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（131分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。
15	①授業テーマ 先行研究に関する考察と議論 ②授業概要 卒業論文のテーマ設定へ向け、先行研究に関する調査・考察結果について報告し、受

	講者全員で議論を行う（ B1、 C1、 E1、 G1、 I1、 K1、 K2、 L1、 M1）。 ③予習（120分） 担当者は発表原稿（レジュメ）の作成・発表準備等を行う。担当者以外の受講者は、指定されたテキストを事前に通読する。 ④復習（132分） 授業での発表や議論、教員による指導等をふまえ、各自の考察をさらに深める。
関連科目	
教科書	必要に応じて指示する。
参考書・参考URL	必要に応じて指示する。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：ryosukenishida@gmail.com ■オフィスアワー：都度、連絡のこと。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント5%；パブリックセキュリティ85%；グローバルセキュリティ5%；情報セキュリティ5% ■危機管理と法学とのバランス 危機管理学95%；法学5%

